

～ 被爆80周年 Music for Peace ～

広島交響楽団

平和音楽大使 **マルタ・アルゲリッチ** 特別公演

～ The 80th Anniversary of the Atomic Bombing ～

Hiroshima Symphony Orchestra

Peace and Music Ambassador

Martha Argerich Special Concert

Conductor: **Christian Arming**

Special Guest: **Hayato Sumino (Piano) Akane Sakai (Piano)**

Reading: **Annie Dutoit-Argerich**

指揮: **クリスティアン・アルミンク**

特別ゲスト: **角野 隼斗 (ピアノ) 酒井 茜 (ピアノ)**

朗読: **アニー・デュトワ＝アルゲリッチ**

Program

プロコフィエフ: ピアノ協奏曲第3番 ハ長調作品26 (角野隼斗)

S. Prokofiev: Piano Concerto No.3 C-Major, op. 26 (H. Sumino)

プロコフィエフ: 古典交響曲ニ短調作品25 (ピアノデュオ版、マルタ・アルゲリッチ & 酒井茜)

S. Prokofiev: Symphonie Classique D-Minor, op. 25 (Piano Duo, M. Argerich & A. Sakai)

朗読: **クララ・シューマンの手紙より**

Reading: from Clara Schumann's Letters

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第1番 ハ長調作品15 (マルタ・アルゲリッチ)

L.v. Beethoven: Piano Concerto No.1 C-Major, op.15 (M. Argerich)

—— ネルソン・フレイレに捧ぐ Hommage to Nelson Freire ——

〔広島公演〕 **2025年10月16日(木) 18:45開演 (17:45開場) 広島文化学園HBGホール**

Thursday, October 16, 2025 18:45 start (17:45 open) Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

入場料 (税込・全席指定) S: ¥18,000 A: ¥15,000 〈U18割引 (18歳以下): 各種半額〉※枚数制限: お一人様4枚まで

■一般発売日/8月26日(火) 9:00～

広響事務局、広響webチケットにて販売。販売初日のみ広響事務局へのご来訪による販売はいたしません。

〔岩国公演〕 **2025年10月18日(土) 16:00開演 (15:00開場) シンフォニア岩国コンサートホール**

Saturday, October 18, 2025 16:00 start (15:00 open) Sinfonia Iwakuni Concert Hall

入場料 (税込・全席指定) ¥16,000 (シンフォニア岩国友の会 ¥14,400) 〈U18割引 (18歳以下): ¥8,000〉※枚数制限: お一人様4枚まで

■シンフォニア岩国友の会先行発売日/8月22日(金) 10:00～

電話 8月22日(金)のみ ▶0827-29-4400 (受付時間10:00～17:00)
8月23日(土)以降 ▶0827-29-1600 (受付時間10:00～19:00)

インターネット 24時間ご予約可能 ▶



シンフォニア岩国窓口/8月23日(土) 以降 10:00～19:00

■一般発売日/8月29日(金) 10:00～

電話 0827-29-1600
(受付時間10:00～19:00/8月29日(金)のみ12:00～)

インターネット 24時間ご予約可能

シンフォニア岩国窓口/10:00～19:00

広響事務局、広響webチケットでも購入可

*やむを得ぬ事情により出演者および曲目を変更する場合がございます。 *就学前のお子様の入場はお断りいたします。 *開演時間に遅れられた場合ご入場に制限がございます。

主催:公益社団法人広島交響楽協会 共催:シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ (岩国公演)

●お問合せ/広響事務局 TEL:082-532-3080 (平日9:00～17:20)

～ 被爆80周年 Music for Peace ～

広島交響楽団

平和音楽大使 マルタ・アルゲリッチ 特別公演

指揮：クリスティアン・アルミンク Christian Arming, conductor

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シュベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲ニ短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



©Shumpei Ohsugi

ピアノ：マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich, piano

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。

1957年のプゾーニおよびジュネーヴの国際コンクール、そして1965年のショパン国際コンクールで優勝。以後ヨーロッパ、日本、アメリカにて世界一流のオーケストラや指揮者、音楽祭などから頻りに招かれているほか、室内楽にも取り組んでいる。

1996年、フランス政府より芸術文化勲章オフィシェを受賞、1997年にはローマ・サンタ・チェチーリア協会に任命される。2001年、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ国際賞が贈られた。

日本では「高松宮殿下記念世界文化賞」(2005年)および旭日中綬章(2016年)アメリカでは「ケネディ・センター名誉賞」(2016年)、イタリア政府よりコメンダトーレ勲章(2018年)を受章している。2015年広島交響楽団の「平和音楽大使」に就任。「ひろしま・ピース・プライズ(ひろしま音楽平和賞)」を受賞(2015年)、また広島市より「ひろしま文化大使」に任命された(2019年)。

1998年より「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督、1999年、「マルタ・アルゲリッチ国際ピアノコンクール」をブエノスアイレスで創設。2002年6月、スイスのルガーノで「マルタ・アルゲリッチ プロジェクト」を開催、2018年よりハンブルグで新しくアルゲリッチ・フェスティバルを始めた。



©Adriano Heitman

角野 隼斗 Hayato Sumino, piano

2018年、ピティナ特級グランプリを受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ロサンゼルスフィル、バンベルク響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、BBCフィル、N響、読響など、国内外のオーケストラと共演。2025/2026シーズンには、フィラデルフィア管、ウィーン響、ベルリン・ドイツ響、オーロラ管への客演が予定されている。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、ロイヤル・アルバート・ホール、ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界各地での公演を成功させ、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューが予定されている。その他にも、コンセルトヘボウ、ウィーン・コンツェルトハウス、エルプフィルハーモニー、Kアリーナ横浜での公演も予定している。

"Cateen(かていん)"名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数148万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。東京大学総長大賞、レナード・バーンスタイン賞、日本ゴールドディスク大賞「クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞。また、オーバス・クラシック賞2025を史上初の2部門で受賞。現在、ニューヨーク在住。

<https://hayatosum.com/>



©Ryuya Amao

酒井 茜 Akane Sakai, piano

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学を卒業後、ベルギー・ルーヴァン・レメンス音楽院修士課程を1等賞で卒業。三浦みどり、パーヴェル・ギリロフ、リリア・ジルベルシュタインに師事。NPO法人イエローエンジェル奨学生、文化庁海外派遣新進芸術家研修生に選出。

ソリストとして、シルヴァン・カンパブラン、アレクサンドル・ヴェデルニコフ、大友直人、ハンブルク交響楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、東京交響楽団などと共演を重ねる。

ラ・フォル・ジュルネ(ナント、東京)、PMF(札幌)、Chopin and his Europe(ポーランド)など数々の音楽祭から招待されている。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、堀米ゆず子、ニコラ・アンゲリッシュらと共演。録音は「ルガノ音楽祭」のライヴCD(ドイツ・グラモフォン、ワーナー)、そしてレコード芸術誌特選盤に選ばれた「ストラヴィンスキー、プロコフィエフ、ラヴェル」(キングインターナショナル)、「VOYAGES」(独Acousence)など多数。

2018年よりドイツ・ハンブルクでの「アルゲリッチ・フェスティバル」においてアーティストック・プランナーを務める。

2025年6月被爆80周年広響室内楽コンサートをプロデュース。



©Andrej Grlic



朗読

アニー・デュトワ＝アルゲリッチ
Annie Dutoit-Argerich, reading

被爆80周年「明子さんのピアノ」支援コンサート

2025年10月15日(水) 18:45開演(17:45開場) 広島文化学園HBGホール

ピアノ：マルタ・アルゲリッチ

特別ゲスト：角野 隼斗、酒井 茜

朗読：アニー・デュトワ、西名みずほ

■チケット料金(税込・全席指定)／7,700円

■チケット発売日／2025年8月26日(火)

■プレイガイド／広響webチケット、広響事務局

詳しくはこちらを
ご覧ください



©中奥啓生